

## 県医師会理事会記事

### 第34回常任理事会

(平成25年12月17日)

#### 平松会長 挨拶



皆さまこんばんは。師走も押し迫って来まして、やり残していることを今年中にやり遂げたい気持ちになる時節です。

やるべきことをやって会員の皆さま方にこの1年間を評価していただく。やり残したこともありますので来年6月の改選時までは、さらなる努力が必要です。

私の小学生時代は、1に努力2に努力と教えられ、とにかく努力せよと言われて育ちました。小学校6年生の時、担任の先生から「努力の上に能率を」と書いた色紙をいただきました。私の本性を見抜かれた思いで、先生には心から感謝の気持ちが湧き上がったことが思い出されます。

私はこの数年は「修行」に対して大変興味を持ちまして、何度も繰り返すようですが、道元禅師の正法眼蔵の中に悪いことをしないという意味で「諸悪莫作」という言葉があります。これは「悪いことをしてはいけない」ではなく、「悪いことが出来ない。良いことをせずにはおられない」そんな環境を作り、持続させる努力をせよという意味です。そんな努力が「修行力」になると書いてあるのです。

私の知る限り「修行力」と名の付いた本はありません。そこで、とりあえず「修行」に関する本を集めてみましたが、その中に「修行」をこれまでと違った視点でとらえた本がありました。

1977年生まれの大前暁政という岡山の小学校の教師が書いた「教壇に立つのが楽しみになる修業術」という本です。彼は「教師としての力は経験年数にはまったく比例しない。どれだけ修行するかで決まる」と言うのです。やはり、どの世界でもそうでしょうが、一人前になるのに教師も3年くらいはかかるようです。一般に教師は誠意と愛情と情熱を持つことが必要であると言われる。私もそう思うのですが、彼はそれは「迷信だ」と断言しているのです。

彼はすでに10冊前後の本を書いている大変な文筆家のようです。本当の教師になるには修行

が必要であり、自分なりの修行法を2つ上げていまして、一つは「これまでの先人が行ってきた教育を謙虚に学ぶ、過去の伝統や教育論をまずは謙虚に学ぶべきだ」と言うのです。そして、他の一つは「先人の行ってきた教育を修正あるいは改善・改革をしながら、新しい教育を行う」ということです。これはまさに私たちの医師会の活動において、今までやって来たことにも相通することであり、私はこれは病院やクリニック経営にも通ることではないかと思ったのです。

その修行法の詳細は①子どもたちにスポットライトが当たる瞬間を作るということです。そのスポットライトを子どもから子どもへつなげていくのでしょうか。そして、②教室全体を見ながら今度は「一人一人の目を見ていく。目を合わせる」ということです。③「暖かい表情を心がける」。そして、④自分が良い先生だと思うこと。自分が理想の先生に「なりきる」ことに力を入れています。

⑤理想の学級の姿を思い浮かべたり、毎日、生徒全員に声をかけたり、現場に行くところですが、いろんな学校を見に行き、尊敬する教師の授業を見て、録音して、そして完全にまねる。良い見本に自分になりきるのです。

この修業術は、われわれの組織や病院・クリニックを上手く運営するにもピッタリのバイブルだと感じました。

この本とは別に昔読んだ本の中に、「後輩こそ先生だ」という言葉もありました。「いろんな人からいろんなことを勉強させていただく」、皆さんからも勉強させていただくと私は理解しました。

今日も報告・協議事項がいろいろございますが、よろしくお願ひします。

#### 協議事項

- ・市郡地区医師会主催学会等の日本医師会生涯教育講座認定申請の件 (平川常任理事) 19件、原案どおりすべて承認
- ・(仮) 広島県新医師会館竣工記念祝賀演奏会の共同開催の件 (温泉川常任理事) 継続審議
- ・平成26年度精神保健福祉事業功労者知事表彰の候補者推薦の件 (温泉川常任理事) 精神保健福祉協会に推薦を依頼
- ・医師共済会休業見舞金・死亡見舞金の件 (水野常任理事)

- 規定どおりの支給を承認
- ・広島医学への広告掲載の件(平川常任理事)  
掲載を承認
- ・広島県医師会・広島県警察連絡協議会・総会の会場使用の件(山田常任理事)  
会場使用を承認
- ・広島県医師会速報の宛名の下段文言の件(小笠原常任理事)  
継続審議(非課税増税)
- ・HMネット契約書・注文書の件(牛尾常任理事)  
契約・注文を承認
- ・役員出張申請の件(温泉川常任理事)  
原案どおり承認
- ・フィリピン台風支援(檜谷副会長)  
支援を承認

## 報告事項

- ・12月13日、支払基金第782回幹事会(平松会長)  
第2回保険診療と審査を考えるフォーラムの開催を協議し、定例の事業報告がされた。
- ・12月14日、全理事会・市郡地区医師会長連絡協議会合同会議(平松会長)  
現在までの重要事業の報告・協議などを行った。
- ・12月16日、広島交響楽協会第12回理事会(平松会長)  
運営などについて協議した。
- ・12月6日、広島県認知症連携パス検討部会(大谷常任理事)  
標準的認知症地域連携パスシステムの導入についてHMネットを想定した開発とした。
- ・12月11日、平成25年度第2回中国・四国ブロックエイズ治療拠点病院等連絡協議会(山田常任理事)  
中国・四国ブロック拠点病院、各中核拠点病院、行政などの関係機関が連携し、ブロック内におけるエイズ対策について、拠点病院間の連携を深めることを目的に第2回標記連絡協議会が開催された。
- ・12月11日、心臓検診検討会(渡邊常任理事)  
広島県における心臓検診の精度向上と均質化の構築に向け、市郡地区医師会の関与と教育委員会への働きかけなどのあり方について協議した。また、市郡地区医師会学校保健担当理事連絡協議会の開催に向け、当日の協議内容について検討した。
- ・12月11日、平成25年度日医認証局の運営に係る情報担当理事及び事務局担当者向け連絡協議会(牛尾常任理事)  
日医医師認証局(HPKI)の運用開始に向け標記連絡協議会が開催され、医師資格証としてのICカードの使い方や、都道府県医師会および市郡地区医師会における資格審査体制構築などの説明があった。なお、HPKIカードの運用に対して発行手続きやセキュリティーなど質問が相次いだ。運用そのものに否定的なものではなく、都道府県医師会のLRA整備を進めることとなった。
- ・「HMネット」作業完了報告(牛尾常任理事)  
HMネット事業に関する作業検収が完了したことを報告した。(1)サーバ関係費用(ハード導入)と拠点病院サーバ構築費用(導入作業費用)(2)診療情報開示開発業務SE費(3)業務委託書 ひまわり法律事務所
- ・12月11日、「HMネット」診療情報参照施設説明会(東区)(大谷常任理事)  
広島市東区を対象とした、診療情報参照施設向け説明会を開催し、事業概要を含め診療情報開示システムの説明や実機を使ったデモンストレーションを行った。医師、看護師、歯科医師、地区医師会職員などを含め、約20名が参加した。
- ・12月12日、広島医学編集委員会(平川常任理事)  
67巻1号以降の掲載原稿について掲載採否および編集(図説1編、補修講座1編、再査読原著2編、再査読症例報告3編、再再再査読地域医療1編、再再再査読原著1編の計9編)について協議し、うち8編を採用とした。
- ・12月12日、平成25年度都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会(牛尾常任理事)  
日医医賠償保険の運営状況をはじめ、各県の取り組み(福島・香川・福岡)が報告され、事前に提出された質問・要望に対する回答がされた。

- ・12月13日、平成25年度第1回2020.30推進懇話会 (温泉川常任理事)  
日本医師会の組織と事業内容および運営の実際などを協議した。
- ・12月13日、腎臓検診検討会 (渡邊常任理事)  
広島県における腎臓検診の精度向上と均質化の構築に向け、市郡地区医師会の関与と教育委員会への働きかけなどのあり方について協議した。また、心臓検診検討会と足並みを揃え、市郡地区医師会学校保健担当理事連絡協議会の開催に向け、当日の協議内容について検討した。
- ・12月16日、感染症講演会 (渡邊常任理事)  
感染症に対する危機管理と普及啓発を図ることを目的に標記講演会を開催し、医療従事

者94名の参加があった。2009年の新型インフルエンザのパンデミックの経験を踏まえた地域で取り組む医療提供体制のあり方や感染症のサーベイランスの必要性、さらにはインフルエンザや風しんの現状報告があった。

- ・12月17日、第6回国保連合会介護サービス苦情処理委員会 (大谷常任理事)  
入院中の脱臼や徘徊対応などについて協議した。
- ・ひろしま医療情報ネットワーク「HMネット」の進捗状況について (牛尾常任理事)  
11月末にて契約確定69%、支払済み28%である。

# 謹 賀 新 年

平成26年 元 旦

## 広島県医師会

|  |       |         |       |         |
|--|-------|---------|-------|---------|
|  | 会 長   | 平 松 恵 一 | 常任理事  | 中 西 敏 夫 |
|  | 副 会 長 | 檜 谷 義 美 | 〃     | 水 野 正 晴 |
|  | 〃     | 豊 田 秀 三 | 〃     | 山 田 博 康 |
|  | 〃     | 桑 原 正 雄 | 〃     | 渡 邊 弘 司 |
|  | 理 事   | 中 林 昭 策 | 〃     | 牛 尾 剛 士 |
|  | 〃     | 菅 田 巖 彦 | 〃     | 大 谷 博 正 |
|  | 〃     | 荒 田 寿 彦 | 〃     | 小笠原 英 敬 |
|  | 〃     | 鳴 戸 謙 嗣 | 〃     | 土 手 慶 五 |
|  | 〃     | 松 村 誠 数 | 〃     | 岩 崎 泰 政 |
|  | 〃     | 山 崎 正 茂 | 〃     | 野 間 純 稔 |
|  | 〃     | 森 近 勝 洋 | 監 事   | 新 本 川 魏 |
|  | 常任理事  | 平 川 勝 郎 | 〃     | 鮒 川 基 樹 |
|  | 〃     | 柳 田 実 健 | 〃     | 二 宮 昭 博 |
|  | 〃     | 有 田 健 一 | 議 長   | 望 月 昭   |
|  | 〃     | 温泉川 梅 代 | 副 議 長 | 佐々木 正 博 |